

平成 25 年 10 月 17 日 00140 号

編集者:佐藤 寿春

北見市幸町 8 丁目 4-4(佐藤整骨院内)

NPO 法人北見市武道振興協会事務局発行

直通:090-5986-0839

代表:0157-22-2212 Fax:0157-23-0581

satou.toshiharu@navy.plala.or.jp

# 北見武道通信

## ニュースレター【事務局情報】北見市柔道協会ビールパーティが大盛況！

10月10日(木)午後7時～、ホテル黒部において【第22回北見市柔道協会ビールパーティ】が開催されました。当日は天候もよく、参加者約400人がホテル黒部2Fの会場を埋めつくしました。主催者の佐藤寿春会長の挨拶で、念願の北見市武道館完成の報告と支援を頂いた北見市民の皆様へ感謝の言葉とともに、北見市の武道館開館記念事業として柔道の「山下泰裕先生の基調講演」が10月18日(金)6時30分、北見市芸術文化センターで開かれることが紹介されました。また、会場には岡島水産(有)提供の約90kgのマグロが参加者の前で解体され市民の皆様へ振る舞われました。



## 【教育委員会情報】剣道の安全指導講習会を行いました。

平成25年10月8日(火)15:00～16:30 剣道の講習会は今年で2年目を迎えます。今年も常呂中学校長の杉浦様と端野中教諭の仲野様のご協力を賜りました。市内の中学校の約3分の2が「剣道」の授業を行っておりますが、有段者の体育教師が1人という状況の中、本研修会で初めて竹刀を握る教師もおりました。剣道の安全指導には、まず環境作りが大切であります。体育館床のテープを活用した事故防止や竹刀の点検方法等も、わかりやすく解説していただき、たいへん勉強になりました。その後、基本的な構え、素振り、防具をつけての基本稽古を行い、受講した教師はそれぞれ課題意識を持つことができました。武道である、柔道や剣道は、数時間の講習で体得できるものではありません。それぞれの教師が「武道の安全講習会」を通し、課題意識を持ちながら、自分の力量を高めるための努力を、積み重ねていただけることを、心より願っております。 \*学校教育部 指導室 主幹 小野朋行



## 連載 中国「老子」の思想 二十四章 功を誇るものは功を失う

高くなろうとして爪先で立てば、かえって足もとが定まらぬ。遠くへ行こうとして大股で歩けば、かえって足がはかどらぬ。不自然な作為は、長続きせぬものだ。

自己を知者とみなす者は、知者ではない。自己を是(ぜ)とする者は、是ではない。自己の功を誇る者は、功を失う。自己を有能とみなす者は、有能ではない。

自然を離れて作為する者は、物の法則の一面しか捉(とら)えていない。これらはみな、「道」から見れば役立たずである。

「道」を体得した者は、そういう一面的な立場を取らない。

原文：企者不立。跨者不行。自見者不明。自是者不彰。自伐者无功。自矜者不长。其於道也、曰餘食贅行。物或惡之。故有道者不処。 二十五章に続く